



百萬の味方

朗かな初夏は花や小鳥の哄笑と歡聲とで喜ばしい感に打たるである、今日は彼岸の中日のあけの日である。降りしきる雪の惱みに電車の客となつた、フト氣付いたのは隣席にある二十歳位の品よき洋装で化粧もしない小柄な青年女子が、ハンドバックを小脇にはさみ頻りに雑誌を読んで居ることであつた。婦女雑誌か講談雑誌か夫れとも文藝雑誌か裁縫編物の雑誌かと思ればイヤ驚いた「道路の改良」第三月號であつた、雑誌もあらうに女子には尤も不向きな無味乾燥なものを何處の部分に興味を感じせらるゝかと思つたので、貴女はどのところを

讀まれますかと厚かましくも尋ねたところ「更らに驚かされた夫れは「全體を讀みます」との答へであつた。おつとめ先はと御尋ねしたら「外櫻田の……です」と此雑誌編輯に浮き身をやつして居る自分に取つては百萬人の味方を得た心持ちがして初夏だ初夏だと心の中で歡喜の叫びをあげたことである。(三、三二、オーテー生)

口頭の秋風

美濃部博士が貴族院に於ての辨明演説は大なる波紋を孕じた、まさかアノ一石が斯くまでの容易ならぬ事態を惹起するに至るとは博士も御氣付かなかつたに相違ない、

注 本欄は讀者諸氏の利用に提供す、治安と風俗とを害し又は人身攻撃に涉らざる限り奇想天外的の寄稿を望む、一文は四百字位にて取捨は編輯子に一任、原稿は道路の改良編輯部宛のこと。

唯已むに已まれぬ卒直な博士の氣象が一片の申しひらきとしては餘りに深刻で痛烈であらしめた爲め一波萬波を生じて院外にまで波及し片田舎邊陲の地でも美濃部博士を葬れよとの聲を聞くに至つたことは博士に對し甚氣の毒に感ずる、併し「もの言へば唇寒し秋の風」である。熱烈な忠君愛國者は上院の一部に限られない、所信に忠なる心情から發した攻撃なら其言また忠ならざるを得ない、言葉も程度を越えて他の感情を煽るが如きことゝなると之に動かさるる者は盲目となり騎虎の勢ひとなつて豫期せざる結果を招來するものである。昔時伊勢大廟に不敬の行動ありと宣傳せられた大官があつたが苟くも實際大廟を拜したる者は

其大官の行動は事實不可能である事を斷じ得るが此實験なき者は其宣傳を盲信し西野某が非違を働いたる結果となつた、晚翠老が此事件に關しては神聖の沈黙を守ると公言せられし事は敬服の至りである(夏木生)

追善道路補修

熊本縣には親父殿修路工夫が二月死去したので其子息が二代目修路工夫となり愛護して居た親父受持の道路に私費で追善補修をなした此の美談は次の通りである。

當該土木管區事務所長が某日巡視の際其の道路が見違へるばかり良くなつたのと路側に點々豫備砂利をも貯藏して居るので此少ない近來の維持修繕費に砂利のあらう筈はなし、不審に思ひ工夫へ尋ねたら「ハイ私が海邊や河岸から人夫を雇ひ採取しました、實は親父が二十數年間修路工夫を勤めて死亡したので澤山に死亡賜金を頂戴しましたので全部頂くのは勿體ないと存し其の半額はお上へ返禮し道の補修をせば死んだ

親父への追善供養と存しまして手入れして居ります」と聞いた管區所長は感激の涙にくれたとの事です。親父殿は先年道路改良會で全國修路工夫表彰されて居ます。此子息も夫れ以上です、近頃社會風教の亂れたる非常時土木界に此の如き美談あるは一服の清涼劑として全國路政者へ特報す價值があると思ひます。(熊本池邊生)

ダルマの行衛不明

京都市西堀川権木町角にあつた交通標示のダルマが何時の程にか行衛不明になつたので足のないダルマが獨り歩きは出来ない筈だと所轄警察署では血まなこになつて詮索したが行衛はわからずに終つたとの事である。道行きするには足がおもひし何處をどうさまよつておるか交通標示器などを盗み去るとはいつづらも大概にしてみらひたい、交通標示を無視する兵卒があるかと思へば交通標示のダルマとひるぎする世水

水戸西山莊の歌

の中とはイヤハヤ(西陣小僧)

水戸光圀公が黃門と稱して「位山のぼるもくるし老の身は麓の里ぞすみよかりける」と詠じて隱栖し大日本史を修した西山莊は太田町より細徑を辿り源氏川の清流を渡つて行く處幽雅の境地に在る有名な所である。北原白秋先生が新作せられたとの歌はとても面白い此歌を唄ひながら田舎の道を往來する氣持ちは格別ぢや夫れは斯うだ「閑かだ。幽かな谷ふところ。何か野鳥が來て動す枯木雜木〇よく晴れた、塵ひとつない空、木ぶかい庭、まだ寒いその清明〇簡素だ飛びの石、萱の野につき上門、こゝは西山莊〇微かに、ひびかれた地肌、影がうつる古來の櫻が、咲くには早いその句〇あゝさうした音が徹の一つに、あゝ心字池だ、大日本史の精神、そのひびきが〇悠々たる老樂、いさぎよい魂、わたしは聴くの音に義公を、水戸の黃門。(瑞龍隱士)

腰が鳴る

むかし〜新潟縣におわしまし、縣の主
 腰辨勵行に反逆の郡の守に一喝休職を命じ
 たとの譚がある遠い幻の時代の聲であるか
 の様な感があるが、今度此度非常の時局が
 反映して北國の大縣の更生會を組織する面
 々が腰辨持參は衛生的であり食事時間を一
 定し經濟的であるといふ結論を得、知事殿
 以下廳員四百名が腰辨で通勤することとな
 つたとの事、縣廳出入の辨當屋と朝寢の妻
 君は泣きの涙だとは私の推量。晝は腰辨、
 お腹がへつて歸りや立寄るカフエーの椅子
 よテナ事はあるまじきこと、酒を飲むやう
 ぢやエラクはならん危い輕業せぬがよい、
 道を通るなら身輕で通れ、安全第一、成功
 の秘訣、せくないそぐな世渡りやつらい、
 萬年屬官こりやゑらい、どうですか。

(雪鳴生)

道路らしい道路を

假 面 劇

「植へる手先も足取も、ふしもそろへて早
 乙女が、歌ふ田植の歌の聲、「今年や豊年穂
 に穂がさいて、路の小草も米がなる」と唄ひ
 ながら小學二三年位の少女達が道らしから
 ぬ田舎道を通つて居るを見ました。舗装さ
 れた都大路に馴れ居るとはいへ私達には牽
 ろ氣安く感ぜられました、自動車も自轉車
 もオートバイも此道では見られないから、
 電灯のない、瓦斯のない、醫者のない村は
 まだ山村僻地にはありますが道のない村は
 あるまい、それで思ひます、幼い頃から道
 の難有味を感じらるゝ様に道らしき道を作
 らねばならぬものだ、御會の方々はもつ
 と道路改良の普及を御計り下さいませ。

(すゑ子)

舗装道の悩み

道路の舗装もいろ〜あつてアスファル

トコンクリート道、瀝青乳劑瀝青マカダム
 道、木塊舗装、正舗石道、煉瓦舗装、コンクリ
 ート平板舗装、セメントコンクリート舗装

膠石舗装道乃至簡易砂利敷道など門外漢に
 は覺へ切れない程の舗装が施されて中には
 試験的にやつて居る所もあるかの様に思は
 るゝが國としても府縣としても市町村とし
 ても道路費には巨額の經費を投じておると
 思ふ。だが舗装工事が終つてやつと「往來
 禁止」の標札が取り去られたかと思つて又
 局部的に掘り返へされ「瓦斯工事」とか
 「上下水道工事中」とか「電話工事中」と
 の札が立てられ、そうかと思ふと過重量の
 トラックや荷馬車や、軍人の操縦する装甲
 自動車の爲めに路面は忽ちにしてアバタ面
 となる、其修繕がまた大變な事だ、なまや
 さしい工事ではない、此秋此際一介の職工
 菊地信義氏の發明に係る保道車が普及せら
 れたら何んと舗装の悩みが取り去らるゝこ
 とであらう。(麗過多無生)

× × ×

× × ×